

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



英語でのコミュニケーションを!

～『大人のチャレンジ! 英会話@コムコム』～

大人対象の英会話講座が、2月4日から週1回、5回開催の短期語学講座としてスタートしました。初級・中級あわせて15人が受講し、外国旅行や道案内、子どもの英語学習にあわせて、地域活動、東京オリンピックボランティアなど、それぞれの目標に向かい毎回真剣に取り組んでいます。

講師には、高橋美由紀先生と河田みほ子先生（どちらも市内在住）を迎え、発音練習や反復練習、グループでの会話等、即実践できる英会話レッスンが進められており、さらに2月に開始した「ねまー

広場での一時預かり」を利用しながら受講する若いお母さんにも好評で、充実した講座となっています。



▲英会話を身につけようと熱心に聴く受講生

「にぎわいまちづくり」プロジェクト!

『KITAakita FES 2017』～集まれ! 筆自慢・大作戦～ 高校生の文化活動によるにぎわい創出を図ろうと『KITAakita FES2017』（佐藤大 実行委員長）が、2月18日に交流センターで行われました。

はじめに秋田北鷹高校書道部から銀座通商店会へ「商売繁盛」「千客万来」と書いた作品が贈呈され、このあと「みんなで筆じまん」、県書道連盟活性化委員会による「書道デモンストレーション」が行われたほか、秋田北鷹、大館鳳鳴、能代松陽、大曲高校による「高校生書道パフォーマンス」では作品が完成するたびに、大きな拍手と歓声があがりました。

また、会場ではバター餅やいぶりがっこ、お菓子等の販売も行われ、多くの方が買い求めていました。



▲秋田北鷹高校の書道パフォーマンス作品

合川公民館特別展「第7回極め人 書道」

～木村美緒子・佐藤真由美 二人展～

地域の優れた人材と芸術作品を紹介する合川公民館特別展「極め人」が、1月16日から2月10日まで行われ、合川公民館の展示室には約320人が来場し作品を鑑賞しました。

7回目となる今回は、第79回県書道展において受賞された木村美緒子さん（李岱）と佐藤真由美さん（綴子）の若手女性2人にスポットを当て展示。最高賞の推薦に輝いた木村さんの作品「陳子昂詩」や佐藤さんの「張家玉詩」などの大作に加え、この展示のために記した「怨」や墨を日本酒で薄めた

「醉縁」などの個性的な作風もあり、来場者は作品の説明書きと合わせじっくりと見入っていました。



▲2人の作品に見入る来場者

学びの広場

合川ろばた講座40周年記念

問 合川公民館 78・2114

日時 3月14日(火)

13時30分～15時

会場 合川公民館

テーマ

「郷土の偉人 畠山義郎を語り継ぐ」

※座談会形式で参加者の皆さんと語り合います。



合川公民館短期講座

問 合川公民館 78・2114

■アロマクラフト講座

アロマのことを学びながら、精油を使った好きな香りのハンドクリームを作ってみませんか。(定員10人)

日時 3月18日(土) 10時～12時

会場 合川公民館

講師 森山 亜矢氏

参加料 1000円(材料代)

申込締切 3月10日(金)

■出張コーヒー教室

実際においしいコーヒーを楽しむながら、プロの知識やいれ方を学んでみませんか。(定員20人)

日時 3月25日(土) 13時30分

会場 合川公民館

講師 ナガハマコーヒー

参加料 1620円(コーヒー代等)

申込締切 3月10日(金)



図書館からのお知らせ

問 鷹巣図書館 62・3311

▽鷹巣図書館では、平成25年6月から平日の開館時間を19時までとして試行的に実施してきました。

この間、市民の皆さんのご利用も多く、定着していることから、このたび条例改正を行い、今年4月から平日の開館時間が、正式に19時までとなります。

▽鷹巣図書館で政党機関紙が閲覧できるようになりました。

《閲覧可能な政党機関紙(5紙)》

自由民主/民進プレス/公明新聞/しんぶん赤旗/社会新報

浜辺の歌音楽館少年少女合唱団

問 浜辺の歌音楽館 72・3014

日時 3月25日(土) 13時30分

会場 浜辺の歌音楽館

出演 浜辺の歌音楽館少年少女合唱団/M・M・C

入場料 無料

ねまーる広場「一時預かり」



市民ふれあいプラザを利用しての間、お子さんの一時預かりをしています。ぜひご利用ください。

詳細については、広報2月号(19ページ)をご覧ください。

ふるさとの文化財

「縄文時代編」

16

○独鈷石

(水上ミ遺跡・二重鳥A遺跡)

独鈷石は、東日本の縄文時代後半から弥生時代にみられる特徴的な形態の石器です。

密教の法具「金剛杵」のうち、「独鈷杵」に形が似ていることからこの名称で呼ばれています。「独鈷杵」は中央部に柄があり、両端に槍状の刃が付いているもので、魔を打ち破り、災いを振り払う道具として、護摩などの儀式に使用されます。

写真上の独鈷石は、水上ミ遺跡で出土したものです。中央部に節があるいは鏝のように突出する部分が2か所あり、両端は石斧の刃のように作られています。写真下は二重鳥A遺跡で出土したものです。破損し、不完全な形ですが、長さが18cmあります。写真上と同様に節と節の間に所々黒くアスファルトが付着し、細い紐縄が巻きつけられていた状況が分かります。

その用途・使い方についてははっきりしませんが、中央の節と節の間の部分に紐縄を巻き、柄の

▽紹介者/北秋田市教育委員会生涯学習課文化係



▲独鈷石(水上ミ遺跡)



▲独鈷石(二重鳥A遺跡)

また、水上ミ遺跡では、完全な形の独鈷石1点が採集されています。現在、北秋田市内で確認されている独鈷石は、この二つの遺跡の3点だけとなります。いずれも森吉山ダム建設区域の遺跡で、隣接した地区にあり、この場所に特別な意味があったのでしょうか。これらの独鈷石は縄文館に展示していますので、ご覧ください。